

第9回 市民と議会のつどい会議録

日 時 令和7年4月26日（土）午後1時30分開会

場 所 宇治市役所議会棟第3委員会室

主 催 宇治市議会

1. 開会

■真田 敦史 広報委員会委員長（以下「司会」）

皆さん、こんにちは。定刻の1時半になりましたので、これから「第9回市民と議会のつどい」を始めさせていただきたいと思います。

私は宇治市議会広報委員会委員長の真田敦史でございます。

平成24年から行っております「市民と議会のつどい」でございますが、今回で9回目を迎えます。今回の市民と議会のつどいは「令和7年度宇治市予算の審査内容について」をテーマに開催したいと考えております。御参加の皆様の御意見を伺う中で、有意義なつどいになればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

つどいの終了予定時刻は3時30分としております。時間の許す限り、できるだけ多くの方から御意見をいただけたらと考えております。

運営上、何かと不行き届きな点もあるかと思いますが、何とぞスムーズな進行に御協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

それでは開会に当たり、宇治市議会議長の松峯茂が挨拶申し上げます。松峯議長、よろしくお願いいたします。

2. 議長挨拶

■松峯 茂 議長

皆さん、こんにちは。ただいま御紹介をいただきました松峯でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、第9回市民と議会のつどいに御参加いただき、誠にありがとうございます。開催に際し、議会を代表し、一言御挨拶申し上げます。

皆様には、日頃より宇治市議会の活動に対し、格段の御高配、御協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、宇治市議会では、市民の意向を的確に反映し、市民に開かれ信頼される宇治市議会を築くため、また、市民福祉の向上及び市政の発展に寄与することを目的として、宇治市議会基本条例を、平成23年に制定いたしました。この条例の趣旨に基づき、宇治市議会の活動を知っていただきますとともに、議員が市民の皆様と意見交換をさせていただく場として、この「市民と議会のつどい」を開催させていただいております。

今回のつどいは、「令和7年度宇治市予算の審査内容について」をテーマに、市民の皆様と

意見交換をさせていただきます。

また、主権者教育の一環として、中学生を中心に、小・中・高等学校の児童・生徒の皆さんにも、学校を通じて参加を呼びかけさせていただきました。幅広い世代の方々に、市議会の活動について、理解と関心を深めていただければと思っております。

宇治市議会では、皆様からいただきました御意見を基に、今後も宇治市の明るい未来を築くため、議論を重ねてまいります。

本日は、短い時間ではございますが、実り多い意見交換の場となりますことを祈念を申し上げまして、開会の御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

■司会

ありがとうございます。それでは、早速ですが、本日のテーマであります「令和7年度宇治市予算の審査内容」について、宇治市議会予算特別委員会委員長を務めていた今川美也議員から説明をしていただきたいと思います。今川議員、お願いいたします。

3. 令和7年予算特別委員会の審査概要

■今川 美也 予算特別委員会委員長

皆さんこんにちは。令和7年予算特別委員会で委員長を務めました今川美也と申します。そして、副委員長を務めました木本裕章議員です。どうぞよろしくお願いいたします。

では、早速ではございますが、令和7年予算特別委員会の審査概要につきまして、私から御説明させていただきます。お手元に資料を御用意させていただきました。そちらを御覧いただくか、前のモニターにも映し出されますので、どちらでも結構です、御覧いただきながらお聞きください。

宇治市議会では令和7年度の当初予算を審査するため、15名の議員が予算特別委員として指名を受けまして予算特別委員会を設置し、3月10日から3月25日までのうち、実質7日間にわたり、付託されました議案、言い方を換えますと予算特別委員会に任されました議案について審査いたしました。

それでは審査の概要について、「1. 予算とは」から順に、御説明させていただきたいと思います。まず予算とは、4月1日から翌年の3月31日までの間の宇治市の歳入（収入）及び歳出（支出）の総額に当たり、財政面から見た宇治市政の設計書というべきものでございます。予算の編成や執行についての権限は市長にありますけれども、その予算は議会の議決がないと成立せず、市長は予算を執行することができません。予算は市民生活に直結する重要なものでございます。市長と議会はよく車の両輪に例えられますけれども、議会には、市民の皆様からお預かりした税金が最大限有効に使われるようチェックすることが求められています。

次に宇治市の予算の概要ですが、一般会計といいますのは、福祉や教育、消防など、住民に幅広く行われる事業の会計のことでございます。

次に特別会計といいますのは、事業目的を限定し、特定の収入を特定の支出に充てて経理する会計のことで、国民健康保険事業、後期高齢者医療事業、介護保険事業、墓地公園事業の4つの特別会計がございます。

次に企業会計といいますのは、独立採算による特定の事業を経理する会計のことで、水道事

業、公共下水道事業の2つの企業会計がございます。

次に令和7年度の各会計予算ですが、一般会計は過去最大の予算規模となる841億1,000万円です。また、各特別会計と水道事業会計及び下水道事業会計の全てを合わせますと1,431億4,554万4,000円となっております。

次に令和7年度の予算の特徴ですが、「夢や希望を育む、未来創造予算」を方針とし、第6次総合計画の着実な推進のため、3つの重点施策と3つのまちづくりの土台となる取組が挙げられ、予算議案が提出されました。

次に一般会計予算の収入（歳入）の内訳ですが、市民の皆様が納められた個人市民税、法人市民税、固定資産税など市税の合計がおよそ257億円で、これは収入全体の30.5%を占めております。また、道路や学校施設整備など、使途を指定して交付される国庫支出金はおおよそ160億円、このほか市債や地方交付税などを合わせまして、全体で841億1,000万円となっております。

次に支出（歳出）の目的別の内訳ですが、民生費はおよそ368億円で全体の43.8%となっております。これは子供や高齢者、障害者の方の福祉や生活保護費など、住民の一定水準の生活と安定した社会生活を保障するのに必要な経費となっております。また、道路や河川、橋梁等に係る土木費はおおよそ69億円、このほか総務費や教育費などを合わせまして、全体で841億1,000万円となっております。

次に予算について理解していただきやすくするために、皆さんの家庭を例に、宇治市の家計簿として資料をお示ししております。こちらは令和7年度の一般会計予算を1万分の1にして、一般家庭の家計に置き換えたものとなっております。

こちらの表の見方ですが、左の列は一般家庭の収入・支出、真ん中の列は個別の収入・支出額、右の列は一般会計予算の具体的な内容となっております。

まず収入ですが、一般家庭における例として、給与などの収入、親からの仕送りや家・車購入のための借入れなどの金額を示しております。次の支出についても生活費や子供の教育費、保険料、水道費用などの金額を示しています。また、預貯金と借金の残高についても同様ですので、御覧おきください。

次に予算特別委員会での主な審査です。審査日程として、初めの5日間は、消防本部、福祉こども部、危機管理室、教育部、建設部など部局別審査や国民健康保険事業特別会計など会計別の審査を行いました。審査6日目には、実地調査として、現在建設中の（仮称）西小倉小中一貫校などの現地視察を行い、審査最終日には総括質疑を行いました。

予算特別委員会では、市長提出の11議案と議員提出の2議案の計13議案及び1つの修正案を審査いたしました。議案には、市長が提案する市長提出議案と議員自らが提案する議会議案がございます。また、議員が市長提出議案の一部を修正した修正案もあり、令和7年予算特別委員会において、議員提出議案が2議案、修正案が1件提出され、市長提出の11議案と併せて、内容について活発な質疑が行われました。

審査の結果、13議案のうち、議会議案及び修正案以外の11議案を可決すべきものとして決定いたしました。

以上、簡単ではございますが、令和7年予算特別委員会の審査概要として御報告をさせていただきます。ありがとうございました。

4. 意見交換

■司会

ありがとうございます。今、令和7年度の予算の概要を説明させていただきました。それでは、この後、時間を多く取りたいと思っております。意見交換のほうに入らせていただきたいと思いますと思っています。

皆さんにお配りさせていただいています「市民と議会のつどい」というこのレジュメのところに書かせていただいているんですが、「参加者の皆様の御協力とお願い」というところもよく読んでおいていただけたらと思います。お願いいたします。

意見交換に入ります前に、意見交換の方法について御説明いたします。

「第9回市民と議会のつどい」の次第を御覧ください。資料の中ほど右側に「意見交換の方法」と記載してあります。まず初めに、意見を述べたいとお考えの方は挙手をお願いいたします。その際、10名程度に番号札をお配りいたします。この端のほうに立っている議員のほうから、この番号札を配らせていただきます。この番号札を配らせていただいた番号順で指名いたしますので、指名された方は、御自身のお名前を述べていただいた後、御意見をお話してください。最初に番号札をお配りした皆さんから順番に意見を述べていただいた後、その御意見を私のほうで集約をさせていただきます、まとめた意見について、議員から発言をさせていただきます。

議員の発言が終わった後に2回目の意見交換に入ります。意見を述べたいとお考えの方は、また挙手をお願いいたします。改めて番号札をお配りし、先ほどと同様、司会から番号で指名させていただきますので、御意見をお話してください。

このような流れで進めてまいりますので、御協力のほどよろしくお願いいたします。

なお、御発言については、できるだけ御参加いただいた皆さんから多くの御意見、お考えをお聞きしたいため、御発言は原則1回とさせていただきます、御発言の時間が長い場合は、大変恐縮でございますが、司会から御意見をまとめていただくようお願いする場合がございます。その際にはスムーズな進行に御協力いただきますようよろしくお願いいたします。おおむね、皆さんの御意見等も含めて2分でまとめていただけたらと思っております。議員の皆さんもまとめた御意見の中で、2分でまとめていただけたらと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、まず最初に、第1回目の御意見をお聞かせいただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは、御意見のある方、挙手をお願いいたします。番号札をお配りさせていただきます。お一人。そのほかの皆さん、よろしいですか。

では、ちょっと立っていただきまして、お名前を言っていた後、御意見を言っていたらと思います。よろしくお願いいたします。

■発言者①

折居台に住んでいる発言者①といいます。予算の概要についてはネットで見させてもらって、「夢や希望を育む、未来創造予算」ということで、さっきも説明あったけれどもよく分かん

いんですが、それぞれいろいろ考えられていると思います。

それで、日頃思っているんですけども、今、子供が減っていますよね。高齢者ということで少子化対策とか言っているのですが、少子化対策というのは非常に嫌な言葉だというふうに思っているんですね。現実の子供とか高齢者を大切にする。将来もありますよ、もちろんね。やっぱり現実の子供とか高齢者を大事にするということが求められているんじゃないかなと思っています。

2つ言います。1つ目は、ここの予算にもありますけれども、不登校児童生徒の自立支援教室U j i ふれあい教室が今、その生涯学習センターにありますよね。前は菟道幼稚園の跡地で結構広くてよかったんですけども、今は2部制でやっているということで、今度は木幡幼稚園のところに移転するということが予算にも盛られているんですけども、今、全国でも34万6,000人の小・中の不登校とか、高校生を入れると41万人と、もう年々、万単位で増えているわけですよ。宇治市でも多いです。小・中で370人と聞いています。ふれあい教室に30人余り通っていると。2部制になっていると。今度は木幡幼稚園の跡地で、非常に遠くなるんですね。やっぱり実態からいったらもう1か所、生涯学習センターをそのままにするか、どこか西宇治のほうにもつくるかということで、必要だと思うんです。それが木幡幼稚園跡地へ行くということについては、ちょっと非常に疑問を持っています。

私自身も小学校の支援員をやっているんで、長らく。やっぱり宇治市はすごく不登校対策が優れているというふうに思います。ですから、ぜひちょっと、木幡幼稚園だけでなく、もう1か所造ってほしいと思います。

もう一個は、公民館の問題です。中宇治の宇治公民館がなくなりました、7年前。市教委は、昨年、生涯学習の推進に向けてという案を出しました。宇治公民館をもう造らないと。宇治の条例がありますよね、公民館条例。5館になっているわけですよ。教育委員会の案で、そういう具合に4館にするということで、条例はどうなっているのかと。別に条例を早く変えてほしいということじゃありませんよ。しかし、条例があるのに、先に教育委員会がそういう結論をつけるということ自体が問題なように思います。

今、中宇治でコミュニティ・リビングという形で造られようとしています。前は学び館とかいう提案があったんですね。今はもう教育委員会は手放して市民協働推進課が進んでやっているみたいですけども、僕はやっぱり社会教育の立場からいったら、地域に公民館って必要やと思います。ぜひ公民館を、いろんな災害の問題でも近くにあるとかいうのは大事なんですね。今度できるところは貸館みたいになって非常に高くなるんじゃないかと、利用料が。今、地域でウクレレサークルで安い集会所とかへ行っているんですけども、生涯学習センターにしてもゆめりあうじにしても高いです。ですから、近くで安いところを、公共施設をやっぱり大事にするということをお願いしたいと思います。以上です。

■司会

ありがとうございます、発言者①さん。

不登校対策のことと公民館のことという、この2点でよろしかったですかね。ありがとうございます。

今、発言者①さんのほうから御意見を述べていただきました。それぞれ各会派のお考え、不登校のことと公民館のことということで、各会派の御意見をそれぞれ述べていただけた

らなと思っています。特に今おっしゃっていたのが、今回、不登校児童生徒自立支援教室Ujiふれあい教室が本幡のほうでできるということで、2つ目が必要じゃないのかということもおっしゃられていたんですが、どんな状況も含めて、会派のお考えを述べていただけたらと思います。公民館のことについても併せてお願いいたします。

それでは、うじ未来のほうから順番に、約2分程度でよろしくをお願いいたします。

■角谷 陽平 議員

うじ未来から、2点、今、不登校対策のところと社会教育というところで御意見を頂戴いたしました。令和7年度の予算だけの話をしてしまうとなかなか難しいんですけども、まず、ふれあい教室の移転については、これはうちの会派からも場所については移転をしてほしいということで要望させていただいていたところです。特に外遊びとかができる場所にしてほしいんだということで、これは要望させてもらっていた内容が実現をしたので一定ありがたいというふうに思っております。

場所については、もちろんこれまでも、今の生涯学習センターの前も含めて、どこかに場所をつくらないといけない。宇治市全域になりますので、やっぱり利用者の誰かににとっては便利やし、ちょっと移転をすると不便になるということはもちろんありますので、今回の移転に伴って、特に今利用されていらっしゃる方が公共交通等を使って行かなくてはならないというところについてはうちとしても懸念をしておりますので、これについては移動手段について、当局のほうに考えてもらいたいということで要望させてもらっているところでございます。

公民館については、特に社会教育活動といったところで大変意義があるというところについて、うちの会派としても考えております。ただ、一定公共施設というものがいろんな利用をしていただけるように、特に利用者さんの多世代・多様化であったりだとか、一つの施設をいろんな目的で使えるようにということ、これについては、やはりこれまでの公共施設というのは、やっぱり維持していくということでも多額の費用がかかるということになってきておりますので、そういった社会教育、生涯学習含めて、推進していくということについては進めていかないけないですけども、ほかのところのバランスであったりだとか公共施設の多目的化といったところについても併せて推進してもらうように我々の会派としては考えているところでございます。以上です。

■司会

ありがとうございます。では、共産党宇治市会議員団、お願いいたします。

■大河 直幸 議員

日本共産党です。よろしくお願いします。

不登校については、府のほうの問題として、今の競争教育であるとか詰め込み教育とか、子供たちが非常に大変になっているということそのものを、やっぱり見ないといけないと思っています。こうしたものを是正して、学校そのものをやっぱり子供たちのしやすい場所、子供たちが安心していられる場所にしていくというのがそもそもの対応やというふうに思っています。

宇治市の対応ですけども、子供たちでいうと様々なケースの子供がいるわけですから、ふれあい教室の増設はもちろんですし、各校での校内フリースクールですとか、子供たちがいろいろ自分たちのペースで接せられる学校や、そういった教育の場に触れ合えるようなところをつくっていく、様々な子供たちの支援の場をつくっていききたい、そういうことが必要だという

ふうに思っているということでもあります。ふれあい教室の増設については私たちも必要だというふうに思います。

それと、あと公民館ですけれども、公民館は社会教育の場ですので、単なる公共施設とは違うというふうに思っています。学校に先生がいるように、公民館にも社会教育主事など、そういった人の配置がどうしても必要だというふうに思いますし、単なるサークル活動の場でもないというのは御理解いただけたと思いますので、しっかり中宇治の公民館を再建した上で、社会教育主事をしっかり配置して、教育の場として活動してもらうということが大事だというふうに思っています。そういう人的な配置が大事だと私どもは考えています。以上です。

■司会

それでは、自民党宇治市会議員団、よろしくお願いいたします。

■西川 康史 議員

自民党でございます。

まず、ふれあい教室の件に関しましては、やはり東の地域の方には非常に便利な場所かなと思っています。西のほうについては、やっぱり交通の便が非常に大変なことであるということもありますので、ふれあい教室の増設については今後検討していかなければいけないと私どもは考えております。

また、今の木幡のところにつきましても、ちょっと駅からは遠いと思っておりますし、予算委員会でもかなりこの件については皆さんからの御意見も出て、議論の対象になったと考えております。今後もふれあい教室、多くの子供たちが行きやすい、そういう環境をつくっていかなければならないと考えております。

また、公民館の問題につきましても、やはり多くの方が御利用される、使いやすい、そういう施設として、今後いろんな形で使える場所ということで進めていかなければならない、もちろん社会教育ということで、教育についてもしっかりと進めていかなければいけないのではないかなと思っておりますので、新たにできる今後の施設についても使い勝手のいいような施設にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。以上です。

■司会

続きまして、公明党宇治市会議員団、よろしくお願いいたします。

■稲吉 道夫 議員

よろしくお願いいたします。

ふれあい教室に関しましては、やはり先ほどから御意見がありますように、交通手段に関しては大変遠くなる子供たちもいらっしゃるということもありますけれども、今後スタートして経過を見ながら、本当にこれがニーズとして高まってくれば増設ということも考えていかなければならないのかなと。でも、やっぱり不登校の子供たちというのは精神的な負担もございしますので、そこを考えると本当に重要な施策だと思いますし、あと、今学校でも不登校児童対策というのは、支援は充実していると思いますので、その辺とまた併せて、今後検討、考えていかなければならないと思います。

それと、公民館に関しては、いろんなお声もあります。団体さん、サークルさん、公民館に対していろんなお声も聞いておりますが、一方で、ちょっとやっぱり施設に関しては老朽化が

今進んでおりますので、その辺の費用面も考えたときに、じゃ、これは今後、宇治市として維持していかなければならないのか、それとも地域と一体となって、地域のほうで維持管理、またお任せしながら今後も継続していただきたいのか、その辺はしっかり考えながら、私どもも検討していきたいと思っております。以上でございます。

■司会

それでは、地域政党京都宇治党・蒼の会議員団、お願いいたします。

■金ヶ崎 秀明 議員

U j i ふれあい教室につきましては、当会派も最重要課題の一つとして、予算委員会でも質疑、要望をさせていただきました。木幡幼稚園のほうに移りまして、グラウンドができて、現地の実地視察も行きました。かなりすばらしい施設で、子供たちが伸び伸びと成長していけるんじゃないかなというような期待感も持っております。

一方で、やはり西宇治、中宇治から通う子供たちが約4割いるということでしたので、その子供たちの対応としては、当初、試行期間というか準備期間については、木幡駅、最寄りの駅にしっかり寄り添って教職員の皆さんなりが誘導していくというような手厚い配慮を取っていくということでございますけれども、当会派としては、やはり神明幼稚園の跡地についても、当局、市長に対して真剣にこの問題に、U j i ふれあい教室については増設も検討していったほしいなということを申し述べております。

それと、公民館につきましては、今までの時代、一定の効果をなしてきた重要な施設だというふうに認識しております。しかし、最近、全市的にもう多機能施設型になっておりまして、いろんな視察も会派で行っておりまして、これから子供たちも高齢者も、そういう多機能施設型でいろんなことを学んで、いろんなことを経験して、コミュニティーもそこで活性化していけるような、そういう施設の在り方を当会派としては考えております。以上です。

■司会

では、続きまして、荻原議員、お願いいたします。

■荻原 豊久 議員

まず、前段の不登校対策のふれあい教室ですけれども、今皆さんおっしゃるとおり、距離が遠いということももちろん分かるんですけれども、実質不登校対策は場所でするんじゃなくて、私は、今後は、民間のいろんなフリースクール等もございますので、そういったところに通われる方も学校に通っていると、単位として認定するような方法を新たに考えていくのも手段じゃないかというふうに思っております。

それから、公共施設の公民館の話ですけれども、先ほども出ておりましたけれども、これまで公共施設全体の集会所のいろんな問題、それから公民館の問題もございますけれども、やはりこれから地域のコミュニティーが希薄化していく中で、一定の存在意義もございましたけれども、一定費用がかかる、更新費用がかかるという中で宇治市がアセットマネジメントを含めて取り組んでこられましたので、今回宇治公民館がなくなったことで、今後は菟道ふれあいセンターのところできちっと機能を増して、地域の方にできるようなものができたらいいんじゃないかなと私は思います。以上です。

■司会

では、続きまして、佐々木議員、お願いいたします。

■佐々木 真由美 議員

不登校に対応するための施設ですけれども、私は菟道ふれあいセンターが耐震をクリアできていないので取りあえず生涯学習センターへと移したときに、そこは暫定だと思っていたんですね。ああいう狭い場所で、庭もない場所でずっと続けていかれるとは思わなかった。そういうことを考えると、今回の木幡幼稚園、視察でも行きましたけれども、非常に開放的な園舎でありますし、グラウンドも広い。そういう意味では多様な活動ができるんじゃないかと思えます。

ただ、皆さんもおっしゃっていたように、1か所では駄目だと思うんですね。神明幼稚園も廃園になりましたけれども、そこらは何にも跡地利用に対してはこういうふうに使うという話は出ておりません。子供にとってもやっぱり通いやすいということもありますし、その場所じゃない場所もあると、どこへ行っても学ぶ場所は用意されているというような、選択できるような、そういうふうな対応が必要だと思っております。

あと、2つ目の公民館の問題については、もうかなり長いこと、本当はずっと前にもこの条例を廃止して学び館にするというようなところがあつたんですけれども、市民の方々の運動で、これはかなりそのままフリーズした状態になっていますね。ですから、その中で、これまで公民館の課題として挙げられていた、使いにくいであるとか予約が取れない、土日が使えない、そういうことを改善していくという、ちょっとそういうことも今取り組まないままではそれを変えていきますというのは、なかなか納得できないことではないかなとは思っています。ただ、本当に老朽化してくる、それをその機能だけで収めておくには、今、本当に昼間はなかなか御利用になれない方もいらっしゃるし、使いやすい施設にするということは私もそれでいいと思います。

それと、地域にあるところというのは、集会所というのはまだまだ宇治市にたくさんあります。集会所というのは、その町内の方だけではなくて、どなたでも活用できますというふうになっていますので、そこも含めて宇治市全体の教育施設、本当に公民館の活動が自分の今の地域活動の出発点だったとおっしゃる方はたくさんいらっしゃいますので、そういう機能はしっかり残していく。でも、いろんな場所が使えますよということで、そういう集まる場がなければ人は集まれないと思いますので、そういうことも視野に入れながら、これからの市民の活動、また社会教育、どういうふうな形にしていくかということを市民の皆さんと一緒に考えていけたらと思っております。以上です。

■司会

藤田議員、よろしくをお願いいたします。

■藤田 智晴 議員

よろしく申し上げます。

1点目の不登校についてなんですけれども、まず、結論から申しますと、やっぱり増設というのも考えていかなきゃいけない点だと思います。

まず、木幡幼稚園のところに移転するということなんですけれども、不登校対策というのはそもそもやっぱり各学校でもやっていかなきゃいけないということでもそうですし、私も民間の力を活用してというのは有効な手だてだと思っています。ただ、そうやって、私も子供の親

ですから、やっぱり移動距離の問題とかというのは、今、例えば地域クラブ活動の移行とか、こういう話というのも出ていますけれども、移動する距離が増えるというのは、やっぱり親としては心配とか、いろんな多岐にわたる問題というのはあると思いますので、そこというのはもっとやっぱり調査・研究して議論は深めていかなきゃいけないかなと思っています。

あと、もう一点の公共施設に関しましてですけれども、もちろん今までの社会教育で皆様がずっと学ぶ場としてあったということは非常に大事なことですし、ただ、全国的にやっぱりこの老朽化というのは問題になっていまして、宇治市でも少子高齢化というのは進んでいますし、これから、今アセットマネジメントをやっていますけれども、どんどん老朽化も直していかなきゃいけない、維持費もかかる、お金もかかるというようなところで、もう一度私は宇治市の公共施設であったりだとか、例えば今、空き家等とかも増えていってますんで、こういうところを一回整理して、どのように、今の皆様が困らない、今までできていたことがしっかりできるような可能性がないのかというのは、私は一度研究して、またいろいろ御提案はさせていただきたいなと思っています。以上です。

■司会

よろしいですか。ありがとうございます。

発言者①さん、御意見ありがとうございます。

2回目の御質問はまだ挙げていない方もいらっしゃいますので、先に皆さんのいろんな御意見を求めた後に、3回目のときにもしまた御質問があった場合は、質問していただけたらというふうに考えております。

今、1人目の発言者①さんが御意見を言っていました。皆さん、せっかく来ていただいているので、よろしかったら手を挙げていただいて、御意見等を言っていただけたらと思います。

では、2回目、改めて誰か、どうでしょうか。どうぞ手を挙げてください。ありがとうございます。

それでは、2番のカードをお持ちの方、座ったままで結構ですので、お名前を言っていた後、御意見を述べていただけたらということですのでよろしくお願いします。

■発言者②

大久保に住んでいます発言者②といいます。

私は交通問題のことで、ちょっと皆さんの御意見を聞きたいなというふうに思います。

今年150万円の計上で実証実験をされるということで、木幡の南山と大久保の平盛、もう一つは笠取と炭山で実証実験を秋からされるということで150万円の計上がされました。去年は30万円の計上で見学したり、いろいろ議員さんたちがお勉強なさるというのをして、すごくだんだんに公共交通のことが一般的になってきたなと思うんですがけれども、私は宇治の高齢者福祉を進める会の事務局をしていまして、もう10人いたら10人が何とかしてほしいとおっしゃるんです。今、食料品もすごく上がってきたけれども、この間、タクシー代を1万円なり2万円、毎月置いておかないとどこにも行けないって、そういうふうにおっしゃる方もあります。

それで、宇治市は認知症の人にやさしいまちということを提唱されていますけれども、認知症

になる前に、私たち高齢者が自分の足でいろんなところへ行ける、そういうことを本当にしてほしいなと私はずっと思っています。今、私はまだ自転車に乗れますし、夫が車で今日もここまで送ってくれましたが、もうだんだんそれも、70歳、80歳になったら免許返納になってくるし、私もいつまでも自転車に乗れるわけでもなくなると。そのときに、病院や買物に行くだけということで社会参加ができる、そのことも含めた公共交通を各党の皆さんはどのように考えてはるのかなと思います。

議会傍聴でも何回か行かせてもらったら、いろんな議員さんがこのことをテーマにお話しされたのもお聞きしましたので、力強いなと思っていますので、各党の御意見をお聞かせください。よろしくお願いします。

■司会

発言者②さん、ありがとうございます。

続きまして、3番のカードをお持ちの方、お名前を言っていていただいて、御意見を言っていたければ。

■発言者③

御蔵山に住んでおります発言者③と申します。

私のほうから、要点は市民の意見ということでちょっと述べさせていただきたいんですが、今ここで1番の方も話題に出されました公民館、それから、宇治の都市プランでしたか。両方ともこれはパブリックコメントを取っておられます。私も応募して提出いたしました。公民館のほうは、非常に廃止に反対の意見が多いというふうに聞いております。ところが、私の記憶では、宇治市の広報で、再建するという意見は少なかった、あるいはなかったというような言葉を聞いたことがあるんですが、廃止をしないようにと言っている人が多い中で、再建してくれという意見は出てこないですね。ある種の言葉のロジックで、ごまかしだと思います。

それから、もう一点、その都市プランにつきましては、これもパブリックコメントをいろいろ書かせていただきましたけれども、特に冒頭のところで、交通の利便性について記述があります。非常に恵まれた交通環境にあるという前提である計画は、交通に関しては立てられていると理解しておりますが、全くのうそです。鉄道が3本もある。確かに3本あるんですね。駅もたくさんあります。でも、JRと京阪というのはほぼ同じところを走っているわけです。近鉄も一部では離れていますけれども、最終的には同じようなルートのところを通っています。駅から400メートルでしたか、バス停から400メートルでしたか、のところも充足していると。このバスも私の住んでいる御蔵山でも去年1路線が廃止になっています。減便をされています。そういう状況で、バスも使いにくい。そんなところで、どなたからどういう意見を聞いて公民館のこととか都市プランをおつくりになったのか。

一番直近で私どもが体験したのは、今回、宇治市の広報紙の広報うじというのがありますね。4月1日号の5ページに「子育て・子育て環境の充実 約102億円」という記事がございます。この中に子育てにやさしいまち実現プロジェクトという記事があって、具体的に木幡・御蔵山エリアでの新たな取組として、プロジェクト事業のさらなる発展に向け、木幡・御蔵山エリアでモデル事業を展開、こういうふうに記述があります。

私は自治会のほうにも関与していますし、まちづくり協議会の会長をさせていただいています。一体どんな事業が、展開されていると書いてありますので、されているのか、全く私ども

の耳には入ってきておりませんし、これも、ですから同じことで、一体誰の意見をどこでどのように聞いて宇治市は施策を立てているのか、行政を行っているのか、これがちょっと分からなくて質問をさせていただきました。

最後にもう一つだけ、防災の関係です。今回予算でどれぐらい防災に充てられているかというのは分からない、私は知らないんですが、例えば御蔵山小学校、私どもの避難場所になっていますが、水1本ありません。毛布が50枚。宇治市に話を聞くと、地域で防災は考えていると。木幡小学校には水はある、食料もあると。だけれども、私の住んでいるところは坂道です。丘陵地です。本当に大きな地震が来たときに、この道路が車で走れる状況にずっと保ってられるのか。あるいは、人が何本の水を持って坂道を上がっていけるのか、そういうことを考えていただきたい。ぜひ御蔵山小学校の備蓄もしっかりした体制を整えて、そろえていただきたいなど。これはもう宇治市全体、全くそういう備蓄のないところもあります。そういうものを、全体を考えていただいて、非常に防災意識は高まっておりますので、その辺のことも教えていただければと思っております。以上です。

■司会

ありがとうございます、発言者③さん。

それでは、続きまして、4番のカードをお持ちの方、お願いいたします。

■発言者④

広野町の発言者④と申します。

まず、物価高騰への対応ということで、今すごくお米がないとか、夏場が暑過ぎて野菜がでにくかったというのがあるんですけども、農業者支援というのがこの物価高騰への対応で1,000万円しかない。これはかなり少ないんじゃないかなと思っています。現在、資材であつたりとか燃料なんかもすごく高騰していますし、それを使ってまで農業を続けていく方はすごく大変だと思うんで、その辺の支援をもっとしていかないと。

今、農業されている方の平均年齢が大体70代と言われています。これ、今後10年たったときに、その農業支援の方たちが実際に農業をするかということ、もうしなくなりますよね。プラス支援がなければ、若手の人たちが何かしようと思っても、結局お金にならなかつたら、若い人たちは自分たちの生活ができないので、そういったことの補助をしていかないと、やっぱり私たちが今後生きていくためには食べていかないといけない。その補助が全く少ないので、これはちょっとおかしいんじゃないかなと思っています。

あと、今、お米が倍近くの値段に上がっています。若い家庭の御家族ですと、子供がたくさんお米を食べるので、それに対しての補助金とかは、大阪とかは出ているけれども、この宇治市とかはどうなのかなと思って、ちょっとそれも聞きたいかなと思っています。

あと、子育てに向けて、病気になったら医者に行けばいいということになるんですけども、その前になぜ病気になるのか、ならないための食育授業というものをもっと宇治市でやってほしいと思います。それに対する支援も、去年ちょっとあったようなんですけども、今年どこまで入っているのかがちょっと分からなくて、もっと子供、大人もそうですけれども、病気にならないための食育指導をできるような、そういう支援もつけてほしいです。

それとあと、先ほども出ましたけれども、公民館。公民館のほうも調理室をたまに使わせていただくんですけども、もう機材が本当にぼろぼろです。フライパンなんかに关しましては、

テフロン加工のフライパンなんかがもう剥げ剥げで、あれを使っていると、今問題のPFASとかがすごく発生しますので、そういったところも予算をどのように考えられているかというのを教えていただきたいです。以上です。

■司会

続きまして、5番のカードをお持ちの方、お願いしてもよろしいでしょうか。

■発言者⑤

失礼します。三室戸に住んでいます発言者⑤といいます。

私は視覚障害者協会の、今、副代表をさせてもらっているんですけども、2つの点について意見を述べさせてもらいたいと思います。

1つは、今年度の予算で、带状疱疹のワクチンが今まで全部自己負担だったんですけども、公費負担が入るということで、これはとても画期的なことですごくうれしいなと思っております。というのは、この間、私たちの周りにもやっぱり複数の方が带状疱疹にかかっておられる。しかも、発見が分からないんですね、带状疱疹になっているかどうか。その後、気づいたらもう既に終わりにかけていたということなんですけれども、私も実は6年前に带状疱疹になりました、おでこにできました。それが残された、私、左目の視力がその当時残っていたんですけども、左目の白目まで带状疱疹が来ていて、危機一髪、何とかドクターの10日間の連続の投薬と、それから点滴、そういう眼科の治療で失明は免れたわけです。そういう意味ではとても危険な病気だし、誰もがかかる。免疫が落ちれば必ずみんなかかるわけですよ。皆さん、水ぼうそうの抗体を持っていますからね。ですからそれを、ワクチンを打ってほしいというのは、私、五、六年前から言い始めていて、健康生きがい課にも少し話をしに行きました。それでもやっぱりなかなかそこは難しいんですという話も聞いた中でこの間の予算化というのはすごくよかったなと思っているので、これは大事にしてもらいたいと同時に、やっぱりまだまだ自己負担の額が大きいんですね。だからその拡充を、今すぐとは言いませんが、徐々に考えてもらえたらありがたいなと思っています。これが一つです。

もう一つは、教育、子育てに関わる問題です。私の子供ももう大きくなりまして、もう既に宇治市から出ていってしまいました。人口減少の一つの要因です。そのときに私の娘が長らく住んだ宇治を離れて、ついこの間まで大阪府の茨木市に住んでおりました。そのときに、非常に子育て支援の政策が進んでいるということに気づいたようで、私も昨年、娘と一緒に茨木市役所の近くにある子育ての複合施設を見学に行ってきました。そこは大学生、中学生、高校生、それから幼児、赤ちゃん、みんながそこに集うことができる施設でした。子供たちが安心して遊べるスペースがある。それから、それを見守るお母さんたちのスペースもある。お母さんたちがサークルで調理をしている間、スタッフの方たちが子供たちを見ておられるとかというふうになっていたのと、それと図書館が非常に充実していて、子供たちがテラスで自習していたんです。私、聞いたら、何してるのって言って、いや、僕ら勉強してんねん、というふうにテラスで自習をしている。

何かやっぱりそういう総合的なビジョンがないと、安心して子育てってできひんのやなというのを感じたので、今すぐしてほしいとは言いませんが、ぜひ議会の皆さんで、茨木市のおにクルという施設の見学に行っていただいたらいいかなって。これはぜひ、宇治の議員さんに見てほしいなあというふうにうちの娘も言っていましたし、本当に安心して子供たちが集ってい

る、親御さんもみんなそこにおられるという光景を目にしたので、やっぱり百聞は一見にしかずですので、ぜひ見ていただいて、おにクル。「おに」は茨木童子というところ、地元のその鬼から取って、「クル」はサークルのクルだそうです。茨木市役所の近くにあります。すごい新しい施設です。費用もそんなに高くなかった。ホールもあるんですよ。だからすごい、そういう総合的な施設、みんなが安心してできるような施設を、もうどうせいろんなどころでするんであれば、安心してできるような、そこを宇治型に変えてもらって、していってもらえれば、不登校の子もそこに安心して来られるようなところにもなるのではないかなというふうに考えています。

そういうちょっと提案を2つ。視察に行ってほしいなと思っているので、これで終わらせてもらいます。

■司会

2点ということで、ありがとうございます。

では、続きまして、6番のカードをお持ちの方。

■発言者⑥

はじめまして。立命館宇治中学校1年の発言者⑥と申します。

私は地球温暖化の、主に環境問題について非常に関心があるんですけども、そこで皆様に御意見を伺いたいのは、既にしていたら申し訳ないんですけども、予算の面で環境の政策、対策を何かしていращやるのかということについて、意見をお伺いしたいです。

例えばなんですけれども、水素ステーションが最近話題になっているんですけども、それを今宇治市とかで使われていない土地とかに増設したりですとか、例えばトヨタ自動車が最近開発しているMIRAIという水素燃料電池自動車を市が購入して、それを例えば市長が使ったりですとか議員の方々が使ったりしても、環境の対策のそういう予算の使い道としてなるんじゃないかなと思っています。よろしくお願いいたします。

■司会

ありがとうございます。皆さんからの貴重な御意見をいただきました。

発言者②さんからは交通政策ということで、高齢者の方も社会参画できるような形も含めて、公共交通についての御質問がありました。

発言者③さんからは市民意見についてということで、政策決定を含めていろんなことがどういうふうに決まっていっているのか、それと併せて防災のことの備蓄を含めた部分で、どういうふうな形でこの令和7年度の予算が進んでいるのか教えてほしいというようなことの御意見がありました。

発言者④さんからは物価高騰対策、特に農業支援のところについて、1,000万円は少ない、ここについてはもっとやっぱり必要じゃないかということも含めて、お米の高騰のことについても御意見がありました。

あわせて、子育て支援のところについては、特に食育のことについて、もう少しやっていくべきじゃないかということが御意見の中でありました。

あと、公民館の施設がもう古いということで、これは課題じゃないかというような御意見をいただきました。

発言者⑤さんからは、帯状疱疹のワクチンについては、これは画期的で、ただ自己負担額がまだまだ高いということで、ここについてはもう少し、今後考えてほしいと。

あわせて、子育て支援については、今総合的な提案、茨木市の例を挙げていただきましたけれども、その部分も含めて、議員のほうで視察に行ってみていただいたらみたいな御提案もいただきました。

そして、立命館の発言者⑥さん、ありがとうございます。環境政策ということで、水素ステーションの例のことも含めて、宇治市が環境のことについてどんな取組をしているのかということをお教えしてほしいというようなことで御質問がありました。

今、5人の皆さんから御意見をいただいたので、それぞれの今のお話を聞いた上で、各会派の御意見を述べていただけたらというふうに考えています。

今度は藤田議員からということで、お願いします。藤田議員。

■藤田 智晴 議員

たくさんの御意見ありがとうございます。

まず、この交通問題、移動の在り方についてなんですけれども、これはもう高齢者の方だけじゃなくて宇治市の皆さん、やっぱりこれ課題やと思うんです。ずっと私も宇治市で生まれて育ってきましたけれども、やっぱり今やったら車がなかったらなかなか移動もしにくいし、また、こういう物価高騰とかそういうところで結構スーパーが今まであったところになくなっちゃったとか、こういうふうな問題というのをもたくさん起こってきている。

まず、この交通問題、先ほどおっしゃっていたように、宇治市は充実しているといっても、なかなかやっぱりバス停まで歩くのも時間にかかる、それで高齢化率も上がっているからなかなかそうやって歩けない方もいらっしゃるという中で、移動の在り方というのは、僕はもっと柔軟にデマンド型のタクシーであったりとか、あと例えば、今ライドシェアとかも宇治市のほうでもある程度いけるようにはなっていますけれども、ただやっぱり時間とか曜日の規制とかというのをもたくさんありますし、そういうところを柔軟に、もっともっと議論を進めていくべきなのじゃないかなというのがまず私の意見です。

次に、例えばパブコメとかもいろいろあった、誰の意見を見てんのやというところの意見とかというのもございました。もちろんあのパブリックコメントというのもいろんなもので取らせていただいて御意見というのは集約しているんですけれども、やっぱりパブリックコメントもなかなか少ない数しか集まらないということとかも、これは多くあるんです。やっぱりサイレントマジョリティーの方の御意見というのをどうやって集めるのかというの、これも課題だと思います。

やっぱり宇治市としては先を見て、今だけじゃなくて、10年先、20年先というのを見たときに、何がいいのかということを、パブリックコメントの中身もいろいろと参考にさせていただいて決めていくということが重要だと思うんです。その中で我々も、いろんな世代もいますし、そういういろんな御意見というのは、やっぱり私たちも目は一つですから、皆さんからこうやって意見をいただくことによって私たちも気づきもあると思いますし、こういったところというのはしっかりいろいろと、私たちにどんどん声を上げていただけたらなと思っております。

防災についてです。この防災についてもまだまだ宇治市も課題だらけですね。例えば収容人

数、今、避難所を設定されていますけれども、例えばその収容人数に、高齢化率30%を超えているこの宇治市で本当に対応ができるのかであったりとか、例えばこの避難所がありますけれども、そこまで、実際歩いていけるのか、備蓄の問題、こういうのはやっぱり能登半島地震が令和6年1月1日に起こって、そこで宇治市からいろんな職員の方を派遣もされていますし、そこで見つかった課題というのをしっかりこの宇治市でも生かしていかなければいけないと思います。

今いただいた御意見というのももちろん私たちもしっかり理解しながら、どこの小学校、どこの避難所にどのような備蓄があるのか、これで本当にいけるのか、様々な視点での検証というのは非常に必要だなと思っております。

物価高についてです。農業について、これはなかなか今、宇治市が掲げている金額が安いんじゃないかというのは、これは正直、私もこれだけで言えば、農業に対してはもっと支援とかお金をかけていくべきだと思ってはおります。ただ、農業の方もやっぱり高齢化が進んでいる、あと所得もあまり高くないとか、いろんな、これも全国的な問題になっていますし、やっぱりこういうことをもっと広げていかなきゃいけない、次世代にこういう魅力とかも伝えていかなきゃいけないというふうな問題というのはもちろんあると思いますから、もうちょっと私もここについては勉強して、議論を深めていけたらなと思ってます。

次は食育についてなんですけれども、食育というのも、これももちろん非常に大事だと思いますんで、もうちょっと、例えば学校の中でとか、そういう中で食育の教育のやり方をどういうふうにしていくのかとか、もうちょっとこういうのは議論していくべきなのかなと思っています。

あと、子育て施策についてなんですけれども、先ほど具体的に茨木市の施設のお名前とかを出していただきましたし、私も図書館を中心に多世代が集まる施設というのは非常にいいなと思っています。ただ、やっぱり箱物を造るには大きな予算がかかりますし、ここというのはいろんな議論が必要やと思うんですけれども、幸い宇治市には今、小中一貫校というものができるところで、3小学校がなくなるとその跡地をどうするかというふうな話というのも進んでいます。

一つは多世代交流の場というふうな形とか、今一応方針というのは決められているんですけれども、これをどうするかというのは先ほど言っていた、例えば避難所の話とかもそうですし、こういうところを全部しっかりもっと深掘りしてからでないと僕はちょっと答えは出せないと思っています。だから、今いただいた御意見とか、しっかり茨木のほうとかも、私も見させていただいて、どういうところは宇治市に持ってきたほうがいいのかとか、やっぱり子育てをするためにはどういうふうな環境がいいのかというのはしっかり勉強させていただいて、小中一貫校に向けて、やっぱり宇治市が子育てに優しいまちだと本当に皆様に思われるような宇治のまちというのを検討していけたらなと思ってます。

最後に、環境問題です。この環境問題、非常にすばらしい御意見をいただいたと思うんですけれども、宇治市もゼロカーボンのまち宣言として、いろんな環境問題というのは非常に力を入れてやっております。ただ、やっぱり民間の、例えば今って時代が変わっていくのが非常に速い時代やと思うんです。例えばインターネットの時代からやっぱり今はAIの時代とかにも変わってきていますし、もっと行政というのも頭を軟らかくして、新しい頭を持ってやっていくべきだと思いますし、今出ている新しい技術、こういったものは、僕は率先して宇治市で

使っていくべきだと思っております。以上です。

■司会

佐々木議員、お願いいたします。

■佐々木 真由美 議員

たくさん御質問をありがとうございます。

ちょっと順番が前後になるかも知れませんが、最初、発言者②さんと発言者③さんが言わはった公共交通ですね。その問題、本当に宇治は4線を乗り入れて14駅がある大変利便性の高いまちです。いろんな計画の前に書いているのを読むと、やっぱり市民の方は怒っています。市内の移動がとにかく不便なんです。おっしゃったようにバスの便も減りましたし、私ももう車に乗ることをやめまして、今自転車でしか移動していないんですけども、本当に不便だなと思います。ですから、高齢になっても自分の好きなところへとか皆さんの集まる場所へと。そのためにはやっぱり足の確保というのは非常に大切だと思いますので、今年度予算で実証実験3か所ということで150万円やっとなしましたけれども、もっとスピードアップして、多分日々御苦労されていると思いますので、ここは本当に地域の方々と一緒に、どういう交通手段があればもっと動きやすくなるのか、日々の生活が困らなくて済むのか、もう一番ニーズの高い問題だと思いますので、ここはしっかり見ていきたいと思います。

それから、パブリックコメントですよね。これは本当に何のために取ってるのか。私もパブリックコメント、議員になる前にはこれで一体、市民からも意見を聞きましたというアリの的に使われているのではないかみたいな、そういうお気持ちでいらっしゃる方はたくさんいらっしゃるんですけども、以前、一般質問しようと思って資料を出していただいたときに、以前はパブリックコメントが出てきても修正というのはほとんどなかったんです。でも、今は割と丁寧に拾ってらっしゃると思います。修正に対して、こういう意見とか。資料を委員会でも頂きますし。ですから、これは本当にたくさんの方が、パブリックコメント自体が偏った意見だと言ってしまうと取っている意味がないので、やはり皆さんいろんな方がパブリックコメントを出しやすいような、何かその方法はないかなとも思います。意見を書いてくださいと言っても、その前にこんな資料を読めと言っても、なかなかそれも大変かも知れませんが、関心のあることだけでもぜひ、どんな御意見でもたくさん寄せていただけたらと思います。

それから、御蔵山小の備蓄について今おっしゃったと思うんですけども、今年かなり備蓄品の予算を大幅に上げて、1日設定はこれぐらい、2食か3食を幾らにしましたとか、備蓄品をかなり広げています。ただ、その備蓄品をこれだけ増やしましただけじゃなくて、実際にどういうところにそれが備蓄されているのか、その辺も偏りはないのかとかはしっかり見ていきたいと思います。多分これはホームページを探すとあるのかな。それか、細かい資料が必要ならば、また危機管理室に求めて、ホームページで分かりますよね。それを御覧になって水がなかったということですね。分かりました。その辺は私も見ていきたいと思います。

それから、発言者④さん、やっぱり食のほうをやってらっしゃるので、そこにいろんな意見をいただきありがとうございます。

まず、農業のことなんですけれども、7年度予算では、農業を支える取組の推進として1.6億円、全部では上げられております。その中でやはりおっしゃったように担い手不足、そこを確保するような、農業を未来につなげていこうというところでは2,100万円とか、若者

や女性など幅広い方が就農しやすい環境づくりというところで3,600万円、それぞれにはやはり、食というのはもう生活を支える一番大切なところですので、支援をしようという思いで多分予算はつけてらっしゃると思います。

あと、農業者の方に低利な融資ができるようにというので、今おっしゃったようにいろんなものがもう物価高騰しているということの中で、5,000万円の枠で利率をかなり抑えた形で、こういうJ Aが実施するところに対して取組もされています。そういう意味では、これでは十分には足りないかも分かりませんが、やはり支えていきたいという思いは、市は持っていると思います。

それから、これは気がつかなかったなと思ったのが、公民館の備品ですね。やはり調理室というのは、私はめったに使わないのであれなんですけれども、そこまで、やはり今P F A Sでテフロンが非常に問題にもなっていますので、その辺のことをちょっと気をつけて見ていきたいなと思いました。ありがとうございます。

それから、発言者⑤さんの茨木市のおにクル、行ってみたいです。宇治市では本当に子供が自習できる場所がなくて、ゆめりあうじで勤務しているときにたくさんの子供たちが結構、ここでは勉強していいですかみたいな形で、席で勉強していたんですけれども、何かそういうことが、もっと気を遣わずに、いろんな目的で子供たちが自ら選んで来られるような施設が宇治市にもぜひできてほしいなと思います。

それからワクチンですけれども、今回予算が初めてつきました。ただ自己負担額、さっきおっしゃっていたのが、このワクチン2種類ありまして、2,500円負担で打てるものと、もっと効き目が長もちするという2回接種ある組換えワクチンのほうが1回6,500円なので、これを2回打つとやっぱり1万3,000円というふうに負担は大きくなります。これは5年に1回の経過措置みたいな形ですので、御利用の感じであるとか、その辺の声も届けていただきたらと思います。

最後に、環境問題ですね。宇治市でもやっぱり、先ほど藤田議員もおっしゃったように、ゼロカーボン宣言みたいなのもやっておりますので、今、再生エネルギーの自立型のエネルギーと蓄電池を設置するための補助、これをかなり何倍にもして今回は予算として上げております。あと、Z E HとかZ E Bに関しても、新しい学校はZ E BのO r i e n t e dで、程度は一番低いんですけれども、それなりに再生エネルギーを生かした形で電力を賄う、電気自動車もおいおい増やしていくという取組もしております。一度には無理ですけれども、徐々に進めていこうと思いますし、そこは議会のほうでもしっかり見ていきたいと思います。

すみません、長くなりまして。ありがとうございました。

■司会

荻原議員、お願いします。

■荻原 豊久 議員

多くの方からいろんな御意見をいただいて、ごもっともなことばかりだというふうに思いますし、それに対して、私が一々これはどうだということはないんですけれども、数点だけちょっと意見として申し上げたいと思います。

公共交通については、多分ここにいる議員全ての者が、本当に宇治市の公共交通についてはどうだという意見を持っていますので、各議会ごとに多分御覧いただいたら質問も非常に昨今

活発にやっておりますので、そのあたりは前を向いて、少しずつですけれども進んでいくというふうに思います。

その中で、先ほどタクシーのお金を1万円ほど毎月ためないという話がございました。恐らく今日も障害者の方々がおいでですけれども、もともと福祉タクシーの費用の助成がありました。これも先ほど市民の意見をどのように聞いておるんだということと兼ね合うんですけれども、ようやくガソリン券を併用して毎月700円使うようにできたのも、何年も何年も議員が議会で物を言うてようやくできたというのが現実でして、パブコメのいろんな話もございましたけれども、一議員が粘り強く意見を申し上げないと市のほうもなかなか動かないというのが私は現状だというふうに思っております。

それから、少子化対策については一定、それこそ国のほうで、あれはちょうど平成2年のときに1.57ショックという言葉からスタートいたしまして、エンゼルプランとか新エンゼルプランでいろんな少子化対策が進んでまいりました。そうはいうても、児童手当等も拡充されてきましたけれども、宇治市の子育て、出生数、一昨日の洛タイ新報を見られた方もおいでかと思っておりますけれども、3年前に1,000人の出生数が2年前は900人台に落ちましたし、昨年度は800人台に落ちたんですよ。そうすると、一定少子化対策についても、今後は人口が本当に増えるのか増えないのかじゃなくて、根本的なことで、政策のことも含めて全般考えていかなければならない時期だというふうに思っております。

それから、環境についてお話がございました。以前、宇治市のほうでは市役所に電気自動車のステーションが実はございました。今ちょっと年月がたって撤去しましたけれども、水素の話もありました。MIRAIという車は恐らく750万円ぐらいしますよね。補助があっても多分四、五百万円なんで、正直言ってなかなか議員の報酬では買えません。

ただし、環境って目に見えた予算だけでなく、日頃から分別、小さなうちからやっぱり環境学習ということで宇治市も分別に取り組んだりしていますし、宇治市の環境政策のほうから、まち美化推進課から各幼稚園とか保育園にパッカー車を持って行って環境学習もしておりますので、予算だけでやることも当然大事ですけれども、やはり小さいうちから環境に対する意識をどのように高めていくかということが環境にとっては大事なかなというふうに思っております。大きな世界の中では大分EVに対する逆風が吹いてまいりまして、トヨタのハイブリッドがなかなか世界的にもまた見直されているというふうに思いますので、ぜひとも日本のトヨタには頑張ってもらいたいと私個人は思っております。以上です。

■司会

地域政党京都宇治党・蒼の会議員団、お願いします。

■金ヶ崎 秀明 議員

ありがとうございます。

地域交通について、私も全く同感でございまして、御蔵山に住んでおりますけれども、京阪バスさんのほうもダイヤ数が減ってきてまして、なかなか使い勝手が悪くなっているところがございます。そういういろんな町内の皆さんの御意見も踏まえて、いろいろと先進地に視察に行かせていただきました。

奈良県の広陵町のほうでは、民間の交通会社が大体9時から夕方5時まで、AIで皆さんのニーズを拾って、ダイヤをそれぞれ決めないで、AIでマッチングをしていくと。大体この

時間に皆さん集まるやろうなという時間にマッチングのダイヤができていって、そこに、停留所というのはもう決まっているんです。停留所はあるんですけども、停留所にそのような10人乗りのハイエース、これがやってくると。目的地でそれぞれ皆さんに降りていただくというような先進事例がございましたので、議会でも提案さしあげていますし、この提案につきましては、今後木幡南山で実証実験が行われます。そこについては、ぜひともこのような実証実験をやっていただきたいなというふうに予算委員会のほうでも提案をさしあげているところでございます。

次に行きまして、防災のほうです。確かに御蔵山小学校は備蓄食料等がございません。しかし、今、体育館の空調の工事がいよいよスタートいたします。4年間で全市の小・中学校の体育館で空調が設置されます。これができますと夏場子供たちも、学校生活もそうなんですけれども、災害時の避難施設で大変有効な設備になってきますので、こちらでしっかり防災のほう、何かあったときの対応みたいなものは宇治市も万全にしているところでございます。今後のそういう備蓄の場所については、今日いただいた御意見を参考にして、これからしっかりと議会でも提案をさしあげていきたいなというふうに考えておるところでございます。

物価高騰対策は、ございましたとおり、農業者支援で低利融資制度がございまして、金利が0.45から0.2%まで引下げというような内容です。先日も農業委員会の皆さんとの懇談会がございまして、農機具が高いんや。米が上がっているんやけれども、もう私らが全然お金もうけができていないんや。農機具や燃料や、そういう資材などが全部上がっているから高騰しているんや。そういうところにしっかりと行政のほうも補助してほしいというお話でしたんで、このような低利融資制度を農協のほうにさしあげるというような施策を展開するところでございます。

それとあと、木幡御蔵山の、私も初め、そういうまちにわた的なプランが出たときに、どのようなことを実際木幡御蔵山のほうでやるんですかという質疑を予算委員会でもしました。内容を聞いていますと、地域ではよくなじみの名前なんですけれども、三角公園という児童公園があるんですけれども、そちらをベースとして、高齢者や子供たちがいろいろコミュニケーションが取れるような催物をやってみたりとか、そういうことを実際やりながら、地域の皆さんがしっかりと顔と顔がつながるような関係を構築していきたいというようにところで、私もこの面についてはまだ抽象的な意見しか聞いておりませんので、これから議論を深めていきたいなというふうに考えております。

それとあと環境ですね。宇治市もよく市役所のマークがついたグレーの車が走っていると思うんですけども、電気自動車が増えておりまして、そういう面でCO₂の削減をしっかりと目指していこうというところは、宇治市が先進的なそういう事例を示して皆さんにも訴えかけをしていくということもございますし、ごみの分別も含めて、有料ごみ袋の話もございますけれども、今のところ、有料ごみ袋の導入というものは、宇治市ではなかなか困難じゃないかなというような第三者委員会の言葉もございますので、その辺も含めて、ごみの分別、ごみの減量、これを含めてCO₂の削減につなげていきたいなというふうに考えているところでございます。以上でございます。

■司会

公明党宇治市会議員団、よろしくお願いいたします。

■稲吉道夫議員

交通、特に空白地域におきましての御意見ですけれども、私の地域を見ましても、本当に御高齢の方がスーパーへ行くのにも交通手段がなかなか厳しいという声をたくさんいただいておりまして、実は本当にこれ、なかなかこの交通手段というのは抜本的な解決策というのがいまだに見いだせていないところもあります。

やっぱり利用者がいかに目的地に行くことができるかどうかということなのですが、実は最近、昨年10月にニンテンドーミュージアムが開設されまして、7月からラッピングバスというのが走っております。そのラッピングバス、今現状、かなりの多くの方が乗車されているんですけれども、やっぱり魅力ある目的地をこのまちの中で、まちづくりとしていかにつくっていくか、そこも併せて大事ではないのかなと。そのことによって利用が増えてバスの維持というのが担っていけるのではないかなと思っていますし、私どももいろんな会派の中で先進地の視察も行っておりますし、MER Sシステムというところもあります。ちょっと言葉だけ聞いても何か分からない部分もありますが、そういったいろんな先進的な事例を研究しながら、今後も空白地域においては、特にやっぱり買物が不便でお困りのところはこれから検討しながら考えていきたいと思っております。

それと防災事業の備蓄品、まさにそうだと思います。防災備蓄品は、まだまだ地域においては完全な配備というのがされていない部分もありますけれども、私は自主防災組織をもっと地域で確立しながら、そして、備蓄においては各個人の徹底した備えというか、いざというときの備えが大事ではないかなと、そういうふうに思っておりますし、これも一般質問で行政のほうにも会派としては質問しております。

次が物価高騰における農業者支援なんですけれども、私も実家が農業をしております、農家の出なんですけれども、今おっしゃったように、やっぱり農業機械というのはすごい高価でありますから、そこを本当に維持管理していくのは大変だということの声がありますが、僕はその農業機械における支援というのにいかに予算を充てていけるのかなと。あと、農業従事者もありますけれども、担い手不足の解消においては育成事業にいかに予算を充てていけるか。その辺はしっかりとこれから行政とも話し合いながら、育成における今後の将来に向けての農業の支援が大事だと、このように思っております。

それと、食育に関してですけれども、私も最近ちょっと血圧が高くなってきてまして、いよいよ今年60歳になりますので、私の支援者の方からいろんなチェックをされまして、しっかり日々血圧を測りなさいよと。でも、その血圧が高くないような食事ですね。塩分を取らないであつたりとか、また、本当に糖尿病というのが今すごい、私も予備軍に入るのかどうか分かりませんが、そういった、やっぱり食事をするだけでもう日々健康であることが私は本当に大事だと思います。まずは健康だからこそのいろんな、皆さん、日々の生活を楽しんでいける、おいしいものを食べるとか、そういうことが続けていけるように、それはやっぱり行政で支援できる部分は、私どもも提案できる部分はしていきたいなと思っております。

それと帯状疱疹なんですけれども、実は65歳、今はもう生ワクチンが2,500円自己負担ということでありますが、65歳というより以前の50歳代のほうが帯状疱疹が発症するケースが高いんです。だからそこにもやっぱり支援策を考えていただく。これはやっぱり国と府と連携しながら、しっかり考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

それと、おにクルということがありましたが、実は会派で昨年、鶴見区のこどもホスピスというところに視察へ行ったんです。そこも同じように小さい世代から青年世代が寄れる居場所

づくりのような施設で、これは全額寄附で運営をしているということなんですよ。これもぜひ、ちょっとまた鶴見のこどもホスピスも見ていただきたいと思いますと思っています。私どももこのおにクルを研究していきたいと思っております。

それと最後に、地球温暖化のことについてですが、水素ステーション、そうですね。これから未来的には必要になってくる部分もあると思うんですが、実は今日の報道で電気自動車に関して、宇治市がニチコンさんと宇治市内の日産自動車ですか、脱炭素推進に向けた連携協定を結んだという報道がありました。これは電気自動車のEVの電力を住宅などに供給できるシステムや可搬型給電器を貸与する、災害時のエネルギーの確保と併せて役立っていただけるようにということで、こういう報道もありましたので、しっかり、やっぱり環境のことを考えるのは大事だと。本当に貴重な意見を今日はありがとうございます。以上でございます。

■司会

自民党宇治市会議員団、よろしくお願いいたします。

■西川 康史 議員

よろしくお願いします。

まず、公共交通についてですけれども、私たち自民党宇治市会議員団として毎年予算要望している中で、公共交通についてはいつも要望しているところでございます。昨年度に続きまして今年度も予算として、前年度よりかなり多くの予算を組んでいただきました。その中で、今、お出かけ支援事業ということで進めていただいておりますけれども、まだまだ、本当に皆様が御利用いただけるような公共交通にはなっていないと。まだこれから、実証実験から始めて、今後どのように進めていくのかは私たちもしっかりと市の動向を見ながら、いろいろ意見をさせていただきたいというふうに考えております。

また、次に防災の件についてですけれども、宇治市の防災は、どんな大きな規模の災害があるかも分かりませんし、いざというときに市の援助がどれだけ素早く来ていただけるかということについては、非常に私も心配しているところです。それで、やはり皆さんもある程度自分たちで準備もしていただく必要があるのかなというふうには考えております。もちろん宇治市の支援というのはしっかりとする必要がありますけれども、それが今の備蓄で全て足りるというものではないというふうにも思っております。その辺を踏まえて、やっぱり最低限、何か起きたときには、1日分ぐらいは各自で持っておくことも自分たちの身を守るためには大変大切なことではないかというふうにも思っております。もちろん宇治市がしっかりと支えてまいります。そのことについては私もしっかりと訴えてまいりたいというふうに考えております。

それから、物価高騰については、本当に皆さんもお困りであるというふうに考えております。その中で私がいつも思っているのは、最低賃金の上昇がここ数年、一気に大きく伸びてきているというところで、やっぱりそれは物価に必ず上乗せされてくるんじゃないかなというふうに思っていますので、最低賃金の上昇についても、あまり一気に上げてしまうとそういうことが起こるということを私はちょっと心配しているところでございます。

次に、農業支援についてですけれども、私自身が農業もさせていただいております。この前もトラクターを買いましたけれども、相当高い金額で、利益に結びつくというほどのことにはならないというふうに考えております。専業農家の方はそれを糧に生活されているところですので、補助金についてもどういう補助金が本当にいいのか、しっかりと検討していただき、農

業者と、またJAさんを含めて検討していかなければならないのかなというふうに思っています。今回につきましてはかなりの低金利で融資される制度ができておりますので、それを利用されることができるようになったということで一つ前進したのかなと思っていますけれども、まだまだ農業支援についてはこれから考えていかなければならないというふうに思っております。

最後に、環境についてですけれども、ゼロカーボンのまち事業としまして、太陽光発電、蓄電池等についても補助金を拡大するということとか、電気自動車等についてもかなりの補助金が出ているということですけれども、先ほどもありましたように、電気自動車だけでなく、ほかのEVとかも含めて、EVじゃなくて、そういうハイブリッドの車、そんなのを利用した環境問題も進めていくべきだというふうに私は考えております。以上です。

■司会

共産党宇治市会議員団、お願いいたします。

■大河 直幸 議員

全てにはちょっとお答え、時間の関係でできないのをお許しいただきたいと思います。

地域交通ですけれども、4つの路線が走っていて14の駅があるというのは、それは宇治市は特筆すべきことだと思いますけれども、それは都市間交通ですから、宇治から京都市へ行くとか宇治から大阪へ行くとかというのは便利かもしれませんけれども、今ニーズは何なのかというと、高齢化やバス路線の撤退で日常の買物とか日常の病院とか、そういう地域内の移動が不便になっているということが大きな問題だと思います。だから私たち日本共産党は、予約乗合制のデマンドタクシー、これを導入するべきやということを相当前から言っていました。これはやっぱり実現するべきやと思いますし、そのためには宇治市の交通予算が少な過ぎますので、交通予算を増やしていくということが本当に必要やというふうに思っています。

それと農業支援については、私たちは後継者対策というのがやっぱり重要やというふうに思っています。1つの農家が1世帯分の収益を上げていたらそれはあれですけれども、例えば後継者が入ってくるときに、そのときに2世帯分の収益を上げなあかんというのは、それは無理な話ですから。そうなってくると後継者がなかなか続かなくてやっぱり廃業してしまうというところが多いと、生産緑地なんかも減っていつているということです。後継者がしっかりとつなげていけるというような対策、支援というのをやらなあかんというふうに思っています。

それと物価高騰対策ですけれども、おこめ券という、そういった案もあるかなというふうに思いますけれども、宇治市の物価高騰対策は、国が補助金を出さへんと宇治市は何もやりませんというのが対策なんです。それが最大の問題だというふうに思います。財源を国が出さなかったら宇治の対策はしませんよというのは問題なので、宇治市のやっぱりお金を使うて、国が補助金、今回補正予算を国もつくらへんと言っていましたから、こうなると5月、6月は何も宇治市は物価高騰対策をしないのかということになりますので、宇治市がしっかり財政を持ち出して市民の暮らしを守っていくということが大事だというふうに私たちは思っているというところであります。

それと、幾つかのことがありますけれども、環境問題ですけれども、市民と築くゼロカーボンのまち関連事業というのを宇治市はやっています。ただこれは2050年までに排出量をゼロにしていくということですけれども、2050年で果たしていいのかということですよ。

これは、だから2050年にゼロというのはどこの目標かという、国の目標なんですよ。国と全く同じ、歩調を合わせてゼロカーボンを2050年でやるということですが、あまりにも遅過ぎると。今が本当に分岐点になっているので、今どういう対策をするのかというのが重要になるというふうに思っています。

ですから、そのためには宇治市がEV車を買ったりとかということだけでは全然対策が足りない、市民の皆さんに参加してもらって、どうすれば市民の皆さんと一緒にゼロカーボンのまちをつくっていけるのかというのを真剣に議論する場を考えていかなあかんというふうに思っているところです。

そういう意味では、住民の声を聞くというお話が発言者③さんからもありましたけれども、本当に大事だというふうに思っていて、例えば予防接種、带状疱疹ワクチンのお話もありましたけれども、これは65歳から宇治市はやるんですよ。でも、これは予防接種法が改正されて、带状疱疹ワクチンが対象になったから宇治市はやるということです。国の方針が決まったからやるということなんですよ。実際は50歳ぐらいからやっている自治体というのはいっぱいあるんですよ。そういうところのやっぱり住民の声や住民の意見を取り入れて、国や府がやらなくても、住民のニーズをしっかりと聞いて、耳が痛いことでもやっていかなあかんというふうに思っています。

そういう意味では、例えば学校給食費の無償化とか18歳までの医療費の無料化とか、国がそうした方針を示していなくても、京都府がやらないと言っている、宇治市が率先して子育て支援なんかを含めていくというような姿勢、対策が必要だというふうに私どもは思っています。市民の声を聞くというのが本当に何よりも出発点だと思います。以上です。

■司会

うじ未来、よろしくお願いいたします。

■角谷 陽平 議員

本当に多岐にわたりまして御意見をいただきましてありがとうございます。

今お聞きさせていただいた課題全般、やはり市の当局も認識をされて、本当に解決、改善に向けてお取組をいただいているものだと思います。我々うじ未来会派としても、これまで具体的に政策を提案してきた分野でもございます。

特に一つ一つについてやるとまた長くなってしまうのであれなんです、やはり公共交通のことであつたりだとか、また、先ほどの地球温暖化防止のための課題であつたりだとか、災害に対する備えもそうなんですけれども、やはりもうこれは行政だけで解決ができるという課題じゃないんですね。やはり民間企業さんであつたりだとか、それこそ市民の皆様、個人個人であつたり市民の団体さんであつたりだとか、また、全く別のところで住んでらっしゃる方、ほかの方のお知恵もお借りするような方法というのを見いだしながら解決に向けてやっていかないといけないかなというふうに思っております。一つ一つ、やはりこれは党派的な、何かイデオロギー的に解決する問題じゃなくて、具体的に解決策を見いだしいかないといけない問題ばかりなんです。

先ほどパブリックコメントのこともございましたけれども、この御意見のお聞きの仕方というの、パブリックコメントも一つだと思いますし、こういったつどいをさせてもらうのも一つです、最近でいけばブロックチェーン技術等を活用して、それこそ日本にお住まいじゃな

い方からもお知恵をお借りするんだと、いろんな関係人口を創出していくんだという方法もございます。

ですので、やっぱり行政の方も御努力いただいていますし、我々議員としても様々な、それこそ先ほどおにクルの視察ということもおっしゃっていただきましたけれども、我々も様々なところへ視察に行かせていただいて、先進的な公共施設なんかも視察をさせていただいている中で、具体的な解決策を見いだすために、引き続き皆様のほうから御意見をいただきながら、また、議員28名おりますので、それぞれ知恵を出しながら、当局とも協力してやっていきたいなと思っております。

すみません、ちょっと個別は答えできませんでしたが、そのように取り組んでまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。以上です。

■司会

ありがとうございます。

今日、市民と議会のつどいというのは、こうやって市民の皆さんの御意見をまずお聞きする中で、議会の活動等を含めて今後につなげていくというのが大きな目的となっております。今日ちょっと個別にいろいろとお答えできていない点がありますが、このお聞きしたことについては今後の議会であつたりとか委員会、様々なところでまた各議員、委員がそれぞれ質問したりしながら行政にも問うていくというふうな形になっていきますので、何とぞよろしくお願いいたします。

気がつけば、最初1人しか挙げていただかなかったんですが、もうこうやって2時間ほぼ使い出しています。

最後に、追加でどうしてもこれだけは言いたいというような方がいらっしゃいましたら手を挙げていただけたらと思います。それで、最後ここの部分で意見交換のところは3時半で止めさせていただけたらと思いますが、最後、どうでしょうか。よろしいでしょうか。

では、発言者①さん。

■発言者①

今話しているのを聞いて、いろいろこうやって議員さんに聞いてもらうということはすごく大事なことだと思っているんです。一つは、我々市民が政治参加をどうするかということでしょうと、今日も中学生が見えています。去年も請願を中学生が出しました。僕、こういうのが大事だと思うんですね。昔、子ども議会ってなかったですかね。ありましたよね。僕、ああいう子供の意見を聞く。将来子供が担うわけですよ。だから、そういう機会をぜひつくってほしい。

もう一点は、ふれあい教室についてはおおむね皆さんからもう一か所必要じゃないかという話がありましたのですごくうれしく思っているんですけども、その中でちょっと気になるのは、民間の知恵をとというのがあるね。確かに民間はいろいろノウハウを持てはと思うけれども、まず議会とか職員とか議員さんとかがしっかり学んで、さっきもいろいろありましたけれども、公共の力をやっぱりつくっていくということが物すごく大事な時期だと思っているんです。なぜかといったら、民間に任せたら、ぼしやったら大変なんですよ、もう。茶づなも今大変だと思うんですけども、これからそういうことにならないように、公共の力というか、議員さんも含めて職員がしっかり学んでほしいなというふうに思います。以上です。

■司会

ありがとうございます。

今いただきました政治参加の件なんですが、子ども議会、過去にこの議会のほうでもさせていただきました。松峯議長が1回目の議長のときにさせていただきました。このことについて今回主権者教育ということで、小学校、中学校、高校のほうにも御参加のほうをお願いさせていただいた経過はあるんですが、今日、実は部活の大会とかがあって、なかなか日程的に合わなかったというところもあるところはあります。

ただ、私たち議会としても若者の政治参加というふうなところで都度、今日来ていただいて立命館の皆さんと、いろいろと議会のほうでも話しさせていただいたりもさせていただいた経過もあります。

そういったことで、いろんな世代の方たちの市民の意見をしっかりと聞くというような形でこのような市民と議会のつどいを開催させていただいておりますので、今日は第9回ということなんですが、今後も議会基本条例で定めさせていただいておりますように、この市民と議会のつどいも都度開催していけるような方向で、テーマとかいろんなことを取り組みながらさせていただけたらと思っていますので、そのときにはまたぜひとも、いろんな方に御参加いただけたらというふうに思っています。

あわせて、皆さんにお願いがあります。議会中継ということでホームページのほうで、YouTubeのライブ中継もさせていただいております。あと傍聴のほうも本会議場、そして、委員会にも来ていただくような状況もできています。ぜひともそういった機会等も使っていただきながら、この宇治市議会に開かれた議会ということで参画していただけるような状況がつけられたらと思っていますのでよろしくお願いいたします。

いろいろな御意見をいただきましたが、ほかにもうよろしいでしょうか。

どうぞ。あと残り2名、お願いします。

■発言者②

私はこれで2回目なんです、これに参加したのは。今日はとってもうれしかったです。公共交通について、いろんな議員の皆さんがやっぱり真剣に考えてくださっているというのが分かりました。今までは全然分かりませんでした。議会だよりとか読んでいただけでは。議会傍聴でも分かりませんでした。本当に議員の皆さん、28人一丸となって公共交通について考えてくれはるんやなというのが分かって、私たち高齢者はとってもうれしいです。今日は本当に議員の皆さん、ありがとうございました。

■司会

どうぞ、次、お名前と、お願いいたします。

■発言者⑦

西小倉の発言者⑦と申します。

私ちょっと疑問に思っていることがあって、公共事業なんですけれども、今、民間にというお話があったんですけども、今西小倉で行われている水害防止のために道路の下に貯水槽を造るのなんだけれども、もうすぐかなと思っていたら府の下水管にぶつかってしまって、もうそれで突き当たって終わり。計画し直して反対側へ延ばしていくから予算ががんと増えて、何億

円というお金が余分にかかる。それから、今度は西小倉に（仮称）小中一貫校を造っているんだけど、その残土処理も、9,000万円と言っていたのが3億円。何でか分からないんだけど、何かよそよりもたくさんいろんなものが出てきたとか言って、何か森友学園を思い出しちゃったんですけれども、そういうことに何でなるのかなというのが。

そういうことに対して市が責任を持って考えるんじゃなくて、民間業者を今度は、貯水槽の場合は訴えていますよね。裁判していますよね。裁判費用やっかかりますよね。何でそんなことになるのかなというのが。やっぱりもっときちっと物事に取り組んでほしいなと思うし、公共事業とかいうのはもっと厳しく考えてほしいなと思うし、それをチェックするのが議会じゃないかなというふうに思っているんですけれども、いかがでしょうか。

■司会

今、公共事業についてはもうしっかりと、そこについては議会としても、各委員会のところとかでも、一般質問とかもさせていただいています。

最後に、もう手短に、皆さんのいろんな御意見を聞いた上での御感想ということで、最後皆さん、一言ずつ各会派いただけたらなというふうに思います。うじ未来のほうから順番にということをお願いいたします。

最後、先ほどの発言者⑦さんの御意見もちよっと絡めながら答えていただけたらありがたいなと思います。よろしくお願いします。

■角谷 陽平 議員

最後、手短にうじ未来から。先ほど、まとめのようなことを申し上げてしまいましたけれども、松村市長以下市の当局、そして議会、市民の方、そして様々な民間の団体さん、市民団体さんも含めて、ここのプレーヤーがどのようにうまく連携をしながら、宇治市が住む場所として、また子育てする場所、そして一生涯住む場所として、よりよいものにしていけるのかというのについては、本当に具体的な政策の目標だとか解決をしていかないといけない課題とかを洗い出しながらやっていきたいと。私たち会派としても議会としても、そういった橋渡し役というのは引き続き務めてまいりたいと思いますのでよろしくお願いします。以上です。

■大河 直幸 議員

本日はありがとうございました。

民間との関係ですけれども、私たちは全て民間事業者がいなくても何かできるというふうには思いません。民間事業者の力も借りなければいけません。ただ、今の宇治市、多くの行政と同じように、例えば工事の発注に係る文書のつくり方とか、例えばコンサルなんかにお任せしている計画づくりとか、あまりにも民間事業者などに頼り過ぎなんじゃないかというような思いは相当持っています。宇治市の職員の皆さんがしっかりと、今も優秀な職員の皆さんがたくさんいらっしゃるわけですから、皆さんが力をつけていただいて、宇治市が公共の力を発揮できる役割というのを大事にしていきたいというふうに思います。

何よりも市民の皆さんとの協働というのが一番大事だというふうに思いますので、市民の皆さんの声をよく聞いて対応していきたいというふうに思っています。

投票率が市議会議員選挙なんかも落ちていて、もう30%台ぐらいですから、我々議員に言うてもなかなか市政が変わらんとかいう思いを持っておられるのかなというような思いもあり

まして、そこは本当に我々危惧しているところです。しっかりと議会としての役割も果たして、しっかりとチェック機能を果たしていきたいというふうに思っています。本日はありがとうございました。

■西川 康史 議員

本日は本当に、この連休の前の大変皆さんお忙しいとか、またゆっくりしたいなというときにお越しいただきまして、ありがとうございました。

私たちも今お聞きした御意見をしっかりと市政に反映できるように、そしてまた、市長、当局としっかりと連携して、皆様の生活に少しでも役立てるようなまちづくりをしていきたいと考えておりますので、皆さん、どうか私たちにもしっかりと期待をしていただきたいなと思っていますので、今後ともよろしくお願いいたします。ありがとうございます。

■稲吉 道夫 議員

ありがとうございます。あくまでも議会というのはチェック機能の機関でございますので、皆様からお預かりした貴重な税を、それが適正に使われるかどうかというのはしっかり行政に対しても、行政との両輪の関係で、しっかり適正に予算が執行されるよう私たちもチェックをしていきたいと、そのように思っております。

それと、本日いただきました御意見、本当に参考になりましたたくさんの御意見を基に、これがこれからの今後の皆さんの市民サービスの向上と市政の発展につなげられるように、議会活動を私たちもしっかり頑張ってまいりたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

■金ヶ崎 秀明 議員

本日はありがとうございました。私たちが提案する質疑であるとか要望であるというのは、もう皆さんからいただいた駅頭での御意見であったり、お手紙を頂いたりお電話いただいたりする意見がもうこの28人ほとんどそのような御意見を提案させていただいております。そういう問題も、すぐできるものもあれば長く時間がかかるものもあるんですけども、粘り強く皆さんの御意見を反映していくのが我々市民の代弁者というような役割でございますので、これからもこの28人の市議会議員一致団結して、それぞれの党派の考え方はございますけれども、いろんな色合いを持ってしっかりと皆さんの市民の生活の向上のために盛り上げていきたいと考えておりますので、今後とも御指導よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

■荻原 豊久 議員

本当に今日はたくさんの御意見をいただきましてありがとうございました。最後に西小倉の発言者⑦さんから厳しい御意見もいただきましたので、これからはしっかりと精進して議員活動に努めてまいりたいと思います。本日はありがとうございました。

■佐々木 真由美 議員

ありがとうございました。議員の仕事って本当に地べたでつながっている皆さんの意見を議会のチャンネルにつないだり、意見を行政のほうに届けることだと思っています。ですから、その地域に住んでなければ分からないこと、その当事者でなければ分からないこと、たくさんあると思います。どうぞ皆さん、議員を使い倒してください。それで何かがすぐ変わるわけ

ではありませんけれども、そういう問題があるということを私は知らせていただくだけでも大変ありがたいと思っています。今日はありがとうございました。

■藤田 智晴 議員

本日はどうもたくさんの御意見をありがとうございました。私も今回、新しく初当選させていただいて、2年ちょっとという期間、議員というものをやらせていただきましていろいろチェックしている中で、やっぱり費用対効果の薄い事業であったりだとか、こういった事業というのも多々自分なりには見つけたなと思っております。

あと、やっぱり大きな予算をかけずとも、皆様の経済的負担の軽減であったり市民サービスの向上につながるということのもたくさんあると思いますので、ぜひまた私たちが言っている意見などをいろいろ見ていただいて、ホームページ等にも電話番号が全員載っていますし、皆様の御意見をまたお寄せ願えたらなと思っております。本日はありがとうございました。

■司会

本日は皆さんと共に大変活発な意見交換ができました。本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

いただきました御意見等につきましては、今後の議会活動、委員会活動等、様々なところで引き続き議会へと精進してまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

そして、今日はこの市民と議会のつどいの申込時に、意見フォームを出していただき様々な御意見もいただいております。先ほどいただいたように、若者の参画をもっとテーマにしてこの市民と議会のつどいをやっていってほしいというような御意見もあったりとか、あと、まちづくり、ビジネスの拠点としてとか、いろんな提案であったりとか、あと、ボッチャをやっておられていまして、障害者の方が一緒にやっていただけたらとかいうような、様々な御意見もいただいております。こういった市民と議会のつどいが本当に市民の皆さんと一緒に、様々な御意見をお聞きしながら議会活動につなげていくということを取り組ませていただけたらと思いますので、今後もよろしくお願いいたします。

それでは、閉会に当たりまして、宇治市議会副議長の関谷智子が御挨拶申し上げます。

5. 副議長挨拶

■関谷 智子 副議長

もう皆さんそれぞれ締めめの挨拶をしていただきましたんですけれども、本日は皆様お忙しい中、本当にこの市民と議会のつどいに御参加をいただきましてありがとうございました。心から御礼申し上げます。

また、活発な意見交換ができましたこと、私どもにとりましても大変有意義な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございます。

地方自治において、私ども議会が意思決定を行う際には、市民の皆様の御意見を十分にお聞きすることが不可欠でございます。本日いただきました貴重な御意見は、今後の議会活動にしっかりと生かしてまいりたいと思っております。また、開かれた議会を目指してさらなる努力を重ねてまいります。

皆様におかれましても、議会の傍聴や、本会議や委員会の様子を配信しておりますインター

ネット中継や議会の活動状況などをお伝えします議会だより等を通じまして、今後も議会の活動をチェックしていただきまして、どうぞ忌憚のない御意見をいただければ幸いです。

結びに、本日御参加いただきました皆様、そして、関係者の皆様の御健勝、御多幸を心よりお祈り申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。どうぞお氣をつけてお帰りください。

■司会

ありがとうございました。この後、今アンケートを手元に置いておりますので、ぜひとも書いていただけたらと思います。

あわせて、本会議場を今開いています。もし御興味のある方は、帰り際に、本会議場がどんなところか見ていただいて帰っていただくこともできますので、よろしく願いいたします。

それでは、アンケートの説明について、広報委員会副委員長の徳永未来議員から説明いたします。

■徳永 未来 広報委員会副委員長

皆さん、こんにちは。宇治市議会広報委員会副委員長の徳永未来です。

本日御参加いただきまして、誠にありがとうございました。長時間ありがとうございます。

本日の内容は、後日ホームページにて御報告をさせていただきます。

また、お手元にありますアンケート用紙に御記入いただきますよう御協力よろしく願いいたします。御記入後のアンケート用紙につきましては、机の上に置いていただきまして、鉛筆もそのまま机の上に置いておいてください。

本日は誠にありがとうございました。お氣をつけてお帰りください。ありがとうございました。

■司会 それでは、皆さん、ありがとうございました。アンケートを置いて帰っていただきまして、もしよろしければ議場のほうも見学していただいて帰っていただけたらと思います。ありがとうございます。